

http://satospo.sakura.ne.jp/blog_archives/tech/centos/sudo.html

<http://yoshimov.com/?page=CentOS%2Fsudo%A4%F2%BB%C8%A4%A8%A4%EB%A4%E8%A4%A6%A4%CB%A4%B9%A4%EB>

<http://d.hatena.ne.jp/LukeSilvia/20080716/p1>

<http://linuxserver.jp/Linux/sudo%E3%81%A7%E4%B8%80%E8%88%AC%E3%83%A6%E3%83%BC%E3%82%B6%E3%81%A7%E3%82%82root%E6%A8%A9%E9%99%90%E3%81%A7%E3%82%B3%E3%83%9E%E3%83%B3%E3%83%89%E3%82%92%E5%AE%9F%E8%A1%8C%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%82%8B%E3%82%88%E3%81%86%E3%81%AB%E3%81%99%E3%82%8B.php>

設定

root で visudo を実行。設定ファイルを編集する。

```
# visudo
```

書き方は

```
ユーザ名 ホスト = ( 権限 ) コマンド
```

設定は次のようにユーザ名とアクセス元ホスト、許可されるコマンドを記述します。

```
# User privilege specification
root ALL=(ALL) ALL
foo ALL=(ALL) NOPASSWD:ALL
hoge ALL=(ALL) PASSWD:ALL
```

以下のポリシーになります。

```
foo はパスワード無しで sudo 利用可能。全てのコマンドを実行可能。
hoge はパスワード有りですudo 利用可能。全てのコマンドを実行可能。
それ以外のユーザは sudo 利用できない。
```

wheel グループのユーザがパスワード無しで sudo を利用できるようにするには、sudores に次のような設定を足します。

```
# Same thing without a password
%wheel ALL=(ALL) NOPASSWD: ALL
```

その他のサンプル

```
/sbin/reboot を使えるようになる
foobar ALL = (ALL) /sbin/reboot
```

```
/bin/ 以下のコマンドが使える。ただし、サブディレクトリは含まない
foobar ALL = (ALL) /bin/
```

```
/bin/ 以下のコマンドをパスワードなしで使う
foobar ALL = (ALL) NOPASSWD: /bin/
```

パスの設定

```
secure_path
```

でパス利用可能なパスが設定されている。

```
/usr/local/bin
```

などを利用したい場合は、secure_path にパスを追加する。

使う

```
sudo コマンド
```

環境変数を引き継いで実行するには

```
sudo -E コマンド
```